



★KANRIMANのための健幸食豆知識★

2017年もすでに12分の1が過ぎましたが、みなさまはどのようなスタートを切られたでしょうか。年明け早々、酔っぱらって隣の店の猫にちょっかい出して、夜中に病院に行く羽目になりました。何年前かの年末に酔っぱらって犬に顔を噛まれた川島のことを笑えなくなってしまいました。でも私の場合、傷はほんのちょっとひっかかれただけで大したことはないのです。ただ、数日前に子猫が1匹死んだのを目撃、他の猫たちも弱々しく姿を見なくなっていたので、念のため狂犬病予防の注射をしてもらったのでした。近所のバンコククリスチャン病院に行きましたが、さすがによく心得たもので、さっさと会計して(1,650バーツ)、注射ブスブスして終わり、まるでコンビニに立ち寄ったくらいの気軽さですべてが終わりました。あ、いえ、終わっていません。狂犬病の注射は日を置いて全部で5回受けなければなりません。すでに予防接種を受けている場合でも、噛まれたら改めて3回受けなければなりません。川島の際は、2本目が日本滞在中で、ワクチンがないとか休診日だとかでさんざんたらい回しにされ、あげくに1万円も払ってましたので、タイで治療が完了するのはありがたいです。

狂犬病は、未だ有効な治療法はなく発症したら致死率ほぼ100%という恐ろしい病気で、世界では年間5万人以上が死亡しています。犬に限らず猫、コウモリ、ネズミヤリスも感染源となり、噛まれるだけでなく、ひっかかれたり傷口や粘膜をなめられても感染します。私はもう問題ないとわかっていても、ちょっと調べたら興味深いネタが出てきましたので、今月は、ちょっと予定を変更して狂犬病について書いてみます。

■■■ タイにおける狂犬病 ■■■

タイの保健省が2017年1月に発表した2016年の国内狂犬病患者数は、13人でした。バンコク含めて東西南北タイの全地方で発症しています。1980年には370人、1990年に185人、1992年に狂犬病予防法が施行され、2012年に4人、2015年が5人と減少しました。2020年には撲滅宣言をすることを目指していたようですが、なぜか昨年は、急激に増加しました。危機感が薄れたようで、今後の増加も危惧されています。

それでも世界の他の国に比べれば、ずいぶんと努力してきたことがわかります。たとえば、2016年の厚生労働省の発表によると、中国は2,635人、インドは7,437人、インドネシア1,113人、ミャンマー681人、フィリピン592人、ベトナム360人、カンボジア190人などとなっています。

ただ、昨年のニュースにビックリするものがありました。「**狂犬病のイヌ食べる タイ東北で12人にワクチン接種**」(Newsclip)という見出しです。知らずに食べたのかと思ったらそうでもないのがさらに驚きです。村で死んだ犬が狂犬病と思われたので、頭を当局に送付して体を埋葬していただきたいのですが、若者たちがわざわざ掘り返して煮物にして食べたというのです。送られた犬の頭部からウイルスが検出されたため、保健省が慌てて即全員に注射したようです。それにしても狂犬病かどうかに限らず、原因不明で死んだ動物の肉を食べちゃダメですよ〜。というか、犬を食べること自体がどうなんだか…。

この場合、ワクチン接種まで日数が立っているけど間に合うのでしょうか。24時間以内に注射を打ったにもかかわらず、顔を噛まれた子供が死亡したケースがあります。脳に近いほど危険なようです。狂犬病の潜伏期間は9日～数年と言われています(大半は1～3ヶ月)。発症前に検査して診断することは不可能だそうで、何の処置もしなかった場合、長いこと不安を抱えることになるのがいやですね。

■■■■ 日本の場合 ■■■■

国内での感染例は1956年以降見られませんが、海外で感染して日本で発症して亡くなったケースがあります。1970年にネパールで犬に咬まれた旅行者が帰国後に死亡しました。2006年には京都と神奈川でそれぞれフィリピンで犬に咬まれて帰国後に発病、死亡しました。京都の感染者は、受診時点で脳炎症状を発症していて詳しい事情は不明ですが、神奈川の感染者の報告があります。噛まれたのは8月末、11月9日に風邪のような症状でA病院へ。11月12日水が飲みにくくなり(恐水)、風が不快(恐風)になってB病院を受診、脱水症状があったので点滴をして帰宅。11月13日、幻覚症状があり再度B病院へ、狂犬病の症状が確認されて入院、11月22日死亡が確認されました。こうして読むと恐ろしさを実感しますね。

■■■■ 病院に行くべきか？ ■■■■

狂犬病は恐ろしい病気ですが、だからといってむやみやたらに動物を避ける必要もありません。どんなことでも「上手に怖がる」ことが大事です。WHOの発症予防の目安は、下記の通りとなっています。

カテゴリー1(危険性なし) —— 動物に触れたり、餌を与えた。動物に傷のない皮膚をなめられた。→ 接触歴が信頼できるものであれば処置必要なし。

カテゴリー2(低い危険性) —— 動物に直接皮膚をかじられた。出血を伴わない引っ掻き傷やすり傷ができた。→ ただちにワクチン接種を開始するが、10日間動物が健康であるか、剖検して狂犬病が否定された場合は中止する。

カテゴリー3(高い危険性) —— 1ヶ所以上の咬傷や引っ掻き傷ができた。動物に粘膜をなめられた。動物に傷のある皮膚をなめられた。コウモリとの接触。→ ただちに抗狂犬病ガンマグロブリンとワクチンを開始するが、10日間動物が健康であるか、剖検して狂犬病が否定された場合は中止する。

これでいくと私はカテゴリー2になるので、猫が元気ならもうやめてもいいことになるようです。ただ、過去に勝手に3回でやめたせいで発症したケースというのがあるらしいので、一応、受けておこうと思います。そういえば、蛇に噛まれたらその蛇を殺して持っていけといいますが、犬にかまれた場合もその犬を持っていけばわかるのか!? でもその時点が潜伏期間だったらやはりわからないと思うのですが・・・？

ちなみに狂犬病は、英語でrabies、タイ語ではโรคสุนัข(ローク・スナック・バー)と言います。いずれにしても英語もタイ語もわからなくても、傷口見せたら絵でも通じるでしょうから、躊躇することなく近くの病院に飛び込むことをおすすめします。



ヘルシー&ハッピーな食のオモシロ空間「SALADee」

495/14-15 Silom Plaza GF, Silom Road, Bangrak 10500
(シーロムとナラティワートの交差点。駐車場有。BTSチョンノンシー3番出口から徒歩5分)

◆◆◆ 第8回(その2) 日本酒を楽しむ会 2月9日(木) 9時~21時半 ◆◆◆

新春スペシャル、瀬祭3本飲み比べ! 参加費: 1,600バーツ、日本酒たっぷり食事つきです。お酒は飲まないけど雰囲気と料理を楽しみたいという方は、1,000バーツにてご参加いただけます。

◆◆◆ ワインで楽しむ大人のひなまつり 3月3日(金) 19時~21時半 ◆◆◆

日本酒だけでなくワインも! のリクエストにお応えして企画しました。参加費同じく 1,600B/1,000B

ご予約・お問い合わせは、081-836-6350 または saladee.aosawa@gmail.com 青澤まで



★KANRIMANのための健幸食豆知識★

ラマ9世御崩御から、90日または100日と独自に定めた服喪期間が終わった会社もあるようです。やっと明るい色の服が着られる！と、喪明け初日に張り切って派手な服を着て出勤したら、周りは相変わらず黒で浮いた・・・というOLさんがいたようですが、みなさまの周りはいかがでしょう。ビジネス街かどうかにもよりますが、シーロム近辺は相変わらず黒は多いですが、色柄付きを着ても目立つというほどではなくてきたように思います。個人的には、黒の服を普段着にするのはタブーなタイで、遠慮なく着られるのはありがたいということもあり、もうしばらく黒メインで過ごそうと思っています。

さて、先日の日本帰国の折、着陸まで映画を見るには中途半端な時間となってしまったので、面白そうなドキュメンタリーでもないかと探したら「Royal Project」という文字を見つけました。英語でしたので完全には理解できておりませんが、あらためて前国王に感謝する農民の姿を見て、その偉大さに涙が出てきました。飛行機という独特の空間で、さらにお酒が入ると余計にまわりやすくなるのか、どうもいつも以上に涙もろくなってしまうようです。着陸前のあわただしい中に、タイの農村風景を見ながら一人で泣いてる女というのは、ちょっと不気味だなあと我ながら思いましたが、とても興味深いものでしたので、今回は、このプロジェクトについて紹介します。

そのプロジェクトは、ベチベルソウについてのものでしたが、この植物をご存じですか？ ベチベルソウまたはベチバー、英語でVetiver Grass、タイ語でหญ้าแฝก(ヤーフェーク)といいます。私は、このビデオを見るまで全く知らず、タイトルを見たときは正直あまり興味を持てなかったのですが、知れば知るほどすごい植物なのです。

■■■ ベチベルソウ開発プロジェクト ■■■

プミポン国王は、古代文明の歴史に認められるように、持続可能な開発は水によって守られると考え、1993年には「水なくして繁栄なし」というお言葉を述べられていました。水があるかないか、その量が多いか少ないかは自然が決めることですが、その影響をいかに管理するかが問題解決のカギとなります。ダムや貯水池を作るというのがありますが、各地で利用できる天然資源を利用するという自然の原理に従った方法を提案されました。地域によって気候や土壌の違いからも対策は別となることから研究センターもタイの各地に設立されました。

その研究の一つにベチベルソウがあります。ベチベルソウは、熱帯アジア原産の草丈2〜3メートルになるイネ科の多年草です。レモングラスの葉にも似てますし、穂が出て花が咲くとゴツくなったススキという感じで、知らずに目にしているかもしれません。

このベチベルソウの開発プロジェクトが、プミポン国王の提唱によって1991年以来行われてきました。プロジェクトの成果が国際的に認識され、ベチベルソウに関する国際セミナーも開催されました。1996年に「ベチベルソウ：奇跡の草」、2000年に「ベチベルソウと環境」というテーマで行われました。

ベチベルソウの何が奇跡なのでしょう？

ベチベルソウは、種子からは発芽せず、発育は早いのですが、雑草のように勝手に生え広がっていくということはありません。それでも安価なので、誰もが容易に入手して植えることができます。根が深くまっすぐ地中に3メートルにも伸びるという性質があることから、浸食や地滑りを防ぐことができます。また、農業ができなくなったような砂質状の土地を押しつぶして硬化させるという特性もあり、土壌流出防止に高い効果を発揮します。傾斜が急な道の浸食を防ぐこともできるので、ビーチや岸壁の坂道や傾斜に立つ建物の周りなど、農業以外の分野にも利用されてきました。これは、タイばかりではなく多くの国、特に南国の島国などにはとてもありがたいことでしょう。段々畑のような傾斜地に、ベチベルソウが植えられていることがありますので、どちらかお出かけの際は、チェックしてみてください。

ベチベルソウには、その他にも多くの活用法があるので箇条書きにしてみます。

- (1) 建材や工芸など — バック、籠、帽子や服など様々な商品が作られています。タイにはベチベルソウの工芸家がいて、他の国にも指導にでかけています。
- (2) 虫除け — 根の粉末を防虫剤にしたり、根茎で編んだマットや団扇、帽子には天然の虫よけ効果があります。さらにゴキブリ除けにもものすごい力を発揮するといわれています。
- (3) 精油 — 根からとれる精油は「静寂の精油」と呼ばれています。リラックス効果があり、ストレスや緊張を緩和、情緒不安、神経症、不眠症の改善にも役立ちます。また、血行を良くする効果もあるため、筋肉痛や関節炎、リウマチ、疲労回復などにも使われています。
- (4) 香料、お香など — あのシャネルの香水にも使われているとのこと。

たしかに奇跡の草といわれるのもわかりますね。プミポン国王は、あらゆる植物や生物を調べつくしているかのようなようです。こうした研究をしながら現場に出て各地を精力的に回ってもおられ、一体、寝る間はあったのでしょうか？ タイの国民だけではなく、世界の人々がプミポン国王の恩恵に授かっているといえるのではないのでしょうか。外国人ではあっても、そんな国王の元で過ごすことができたことがあらためて幸運だったなあと思います。

参考:

王国首相府ナショナル・アイデンティティー委員会出版の「大地のカープーミポン国王」
在東京タイ王国大使館「国王陛下」

http://www.thaiembassy.jp/rte1/index.php?option=com_content&view=article&id=87&Itemid=266

日本新薬 植物図鑑DB 今月の花「ベチベルソウ」

http://www.nippon-shinyaku.co.jp/herb/db/flower/2005/vetiveria_zizanioides.html



ヘルシー＆ハッピーな食のオモシロ空間「SALADee」

495/14-15 Silom Plaza GF, Silom Road, Bangrak 10500

(シーロムとナラティワートの交差点。駐車場有。BTSチョンノンシー3番出口から徒歩5分)

3月の料理 — <ポルトガル料理>

3月3日のワインの会(満員御礼)でポルトガルワインを飲むことから、3月は、ポルトガル料理を提供します！ バカリヤウ(塩漬けの鱈)やイワシなどの他、シーフードがたっぷりのポルトガル料理は、日本人によく合います。もちろんしっかり肉料理もご用意します。アラカルトだけでなく、セット、宴会料理でもご用意できますので、いつもと違った集まりの機会にもどうぞご利用ください。

その他、歓送迎会等予算に合わせた宴会セットをご用意します！

ご予約・お問い合わせは、081-836-6350 または saladee.aosawa@gmail.com 青澤まで



★KANRIMANのための健幸食豆知識★

日本に2泊3日で一時帰国して、渋谷と品川を中心に動いておりましたが、外国人の多さに驚きました。渋谷は、もともと他の街に比べて外国人が多い方ではありましたが、ここまで!?!?と思うほど多く、バンコクと比べてもかわらないくらいでした。ふつうに歩いていてもいろんな国の言葉が耳に入ってきました。宿泊は、鮫洲に用があったのでシーサイド品川という何もなさそ～な静かな駅だったのですが、羽田に近いからか、ここにも外国人がたくさんおりました。団体客ならまだわかるのですが、いかにも個人旅行、家族旅行だったりします。やっと日本も開国したんだな～としみじみ。

2009年のソクランに伊勢志摩にタイ人の友人家族を連れて旅行した時に、英語表記の少なさに驚きました。ホテルでも駅でも英語の案内がほとんどないのです。伊勢志摩ほどの観光地なのに、レストランに入っても英語メニューがなくて、いちいち訳して何が食べたいか聞かなければならず、とても苦労しました。タイの安いローカルな屋台ですら英語メニューを置いているところがあるというのに、伊勢志摩の立派なお店がそんな状態だったのです。外国人は来なくていい、日本語のわからない人は来なくていいとばかりに、外国人には門戸を閉じていたかのようでした。

そんなことがあったので、開国と感じたのも無理はないのです。ちょうど今回の帰国で「フードツーリズムマイスター」という講座を受講したのですが、外国人が増えたのは、そもそも政策によるものと納得でした。日本が外国人旅行者を呼び込もうと意識し始めたのは、2003年からで、それまでは、外国人を呼び込む必要性など感じていなかったのでしょうか。2003年にビジット・ジャパン・キャンペーンを展開して、その年の訪日外国人数は521万人でした。

2008年に観光庁が設置され、2013年になってやっと第1回目の観光立国推進閣僚会議が開催されました。その年に訪日外国人数は、1,000万人を超えることができました。翌2014年には1,341万人、2015年には1,973万人、2016年にはついに2,000万人を超えました。外国人が昔に比べて圧倒的に増えたと感じるのも道理ですね。

さて、今月から私が取得している食の資格について少し説明しながら、あわせてお役にたちそうな面白い情報をお届けしてみようと思います。まずは、受講したてホヤホヤのフードツーリズムマイスターベーシックに関連した話からです。

■■■ フードツーリズム ■■■

■ フードツーリズムマイスター

株式会社ジェイティービーと株式会社JTBコミュニケーションデザイン、社団法人日本野菜ソムリエ協会が共同で2016年に日本フードツーリズム協会を設立、同年11月からフードツーリズムマイスター養成講座を開講しています。

フードツーリズムマイスターとは、食をテーマに地域と旅行者をつなぐことができるプロデューサーであり、

地域ならではの食・食文化を伝えることができる旅の達人です。こうした人材が増えることで、地域の食をテーマにした旅行などを増やして、観光振興につなげていくことをめざしています。

ベーシックコースの講義内容は、「ツーリズム概論とフードツーリズム」「食の魅力」「食を引き立てる体験」「プランニング」からなり、実際に特定の地域をイメージした食の魅力を伝えるためのプランニングを行います。早い話が町おこしですね。航空会社など、企業で受講しているケースもありますが、地域の活性化を考えている自治体には、ぜひ受講して欲しい内容となっています。たまたまスケジュールが合ったので受講したのですが、思った以上に面白く、ためになる講座でした。ちなみに受講費は、試験を含めて5万8千円、高いか安いかは、この資格をどう活かすかにもよるでしょうが、本気で地域の観光を盛り上げたいと考えているなら決して高くはない料金だと思います。

それにしても外国人客は既にいっぱい来ているし、中国人も爆買いをやめてしまったらしいし、そろそろ訪日外国人数も頭打ち、今から策を練っても遅いのではないかと思っておりました。観光客に頼った地域おこしでは、景気に左右されてうまくいかないのではとも思っておりました。ところが、政府はまだ増やしていくつものようです。東京オリンピックには、訪日外国人数を4,000万人に、2030年には、6,000万人をめざしているそうです。2,000万人でもすごいと思うのですが、さらに倍!? 外国人客ってそんなにたくさんいるものなのではないでしょうか??

■ 観光大国

観光大国というところの国を思い浮かべますか？ 日本の訪日外国人数は、2,000万人超、十分に観光大国と呼べるものではないでしょうか？ いえいえ、観光大国は、こんなものではありません。世界で一番、国外から観光客を集めている国は、どこだと思いますか？

今回の講座で知ったのですが、国連には、ちゃんと世界観光機関 World Tourism Organizationなるものがあるんですね。余談ですが、略称を「WTO」としておりましたが、世界貿易機関と混乱してしまうので、現在は、略称を「UNWTO」としているそうです。

その世界観光機関が世界観光ランキングなるものを毎年発表しています。このランキングがとても興味深いので、また次号に詳細を載せるとしまして、とりあえず、一言で「世界で一番外国人客が多い国」は、フランスになります。ナント、2015年には年間で8,500万人ほどの外国人が訪れました。フランスは、日本より広いし、地続きで移動が可能とはいっても、8,500万人という数字はすごいですね。それだけ旅行者ってたくさんいるものなのですね。日本がフランスにならって、まだまだ呼ぶぞ〜！と意気込んで6,000万人なんて大きな目標を立てても、ひょっとしたら・・・と思える数字なのでした。それだけ外国人が来るなら、私のふるさとの秋田の廃れた山奥の村でも活性化することができるのでしょうか。フードツーリズムマイスター講座を受講して、少しだけ光が見えたような気がしました。



ヘルシー&ハッピーな食のオモシロ空間「SALADee」

495/14-15 Silom Plaza GF, Silom Road, Bangrak 10500
(シーロムとナラティワートの交差点。駐車場有。BTSチョンノンシー3番出口から徒歩5分)

<お知らせ> タイ正月に合わせて、4月8日から16日までお休みとさせていただきます。4月17日(月)から通常営業いたしますので、よろしくお願いします。

歓送迎会等予算に合わせた宴会セットをご用意します！

ご予約・お問い合わせは、081-836-6350 または saladee.aosawa@gmail.com 青澤まで



★KANRIMANのための健幸食豆知識★

タイ正月の休みは、タスマニアに行ってきました。スペインやモルディブに行くと言うと「いいですね～！」という反応なのに、タスマニア行くと言うと「なぜですか？」という質問が返ってきて、逆に不思議に思っておりました。行ってみて納得。タスマニアは日本人にとってなじみのない、とても遠いところのようです。1週間も滞在したタスマニアで見かけた日本人は、ほんの数人でした。4月は旅行人口が少ないとは思いますが、同じ時期のエアーズロックやシドニーではたくさん会いましたし、経由地のメルボルンでも見かけましたので、やはりタスマニアに行く日本人が少ないのでしょう。観光客の少ない秘境というならいいのですが、中国人やインド人の観光客にはたくさん会いましたし、1人旅のタイ人とは1日ツアーで一緒でした。

私は、グルメではありませんが、食べることもお酒を飲むことも好きなので、タスマニア産のオイスター、ビーフ、ラム、サーモン、チーズ、ワインが美味しいということを知っておりました。長い間、いつかは行ってみたいと夢見ていて、やっと念願がかないました。美味しいだけでなく、北海道より少し小さい島で(8割)、そのうちの2割が世界遺産の原生地域という自然豊かな島です。島のあちこちに10分から数時間、何日間にも渡るトレッキングコースが用意されています。また、タスマニアデビルやウォンバットなどめずらしい動物もたくさんいて、観光するにはまったく飽きることのない夢のような島で、1週間あっても時間が全然足りませんでした。

タスマニアへは、オーストラリアの都市で乗り換えの必要がありますが、バンコクからの方が日本から飛ぶより1～2時間早くて便利です。旅行をご検討の方は、私が作りました特製「旅のしおり」がヒントになると思います。ご連絡くださいましたら差し上げますのでご遠慮なくどうぞ～！

■■■ フードツーリズム(2) ■■■

先月号で、世界一の観光大国はフランスだとお知らせしました。日本は、どのくらいの位置にいるのでしょうか？ タイはどうでしょう？？ オーストラリアは？？？ 国連の世界観光機関の発表を抜粋して紹介してみましよう。

■ 国際観光客到着数(2015年)

1.	フランス	8445.2 万人	11.	タイ	2988.1 万人
2.	アメリカ	7751.0 万人	12.	オーストリア	2671.9 万人
3.	スペイン	6821.5 万人	13.	香港	2668.6 万人
4.	中国	5688.6 万人	14.	マレーシア	2572.1 万人
5.	イタリア	5073.2 万人	15.	ギリシャ	2355.9 万人
6.	トルコ	未確定	16.	日本	1973.7 万人
7.	ドイツ	3497.2 万人	17.	サウジアラビア	1799.4 万人
8.	イギリス	3443.6 万人	18.	カナダ	1797.0 万人
9.	メキシコ	3209.3 万人	19.	ポーランド	1672.8 万人
10.	ロシア	3134.6 万人	20.	オランダ	1500.7 万人

上位8位までの順位は、2013年から不動です(たぶん、もっと前から)。タイも十分に観光大国だと思っ
ていましたが、上には上があるのですね～。それぞれに納得できる順位でもありますが、マレーシアやサウジ
アラビアはちょっと意外でした。日本は、2016年に2,000万人を超えましたので、新しい統計ではもう少し
順位が上がるでしょうか。こうしてみると、まだまだ日本が外国人を呼ぶ余地があるとういことがよくわかりま
すね。

■ 国際観光収入

International tourism receipts

旅行先の国(地域)が海外旅行者から得る収益
の国別トップ 10

1.	アメリカ合衆国	2045.23 億米ドル
2.	中国	1141.09 億米ドル
3.	スペイン	565.26 億米ドル
4.	フランス	459.20 億米ドル
5.	イギリス	454.64 億米ドル
6.	タイ	445.53 億米ドル
7.	イタリア	394.49 億米ドル
8.	ドイツ	368.67 億米ドル
9.	香港	361.50 億米ドル
10.	マカオ	313.03 億米ドル

■ 国際観光支出

International tourism expenditure

海外旅行者が旅行先の国(地域)へ支払う消費
額の国別トップ 10

1.	中国	2922 億米ドル
2.	アメリカ合衆国	1129 億米ドル
3.	ドイツ	775 億米ドル
4.	イギリス	633 億米ドル
5.	フランス	384 億米ドル
6.	ロシア	349 億米ドル
7.	カナダ	294 億米ドル
8.	韓国	250 億米ドル
9.	イタリア	244 億米ドル
10.	オーストラリア	235 億米ドル

それぞれ2015年のもので、換算時点での為替相場によって順位の変動が生じることがあります。客数の
多いフランスは、近隣からの短期滞在が多いようでありあまりお金を使ってもらえていないようです。日本は、
1995年には観光支出で3位にありましたが、他国が増えてきているのに反して日本人の旅行者は横ばい
から減少気味、今は、すっかりランク外です。旅行収支という意味では、日本人が使うより外国人にたくさ
ん使ってもらって黒字になるのがいいのかもしれませんが、なんだかさみしい気もします。不景気だからで
すかね～？ なんだかそれだけじゃないような気もしますが。それにしても中国とアメリカはすごいです
ねえ。

いずれにしても旅行関連業は、まだまだ儲かる余地があるということでしょう。それも平和であることが大前
提です。



ヘルシー&ハッピーな食のオモシロ空間「SALADee」

495/14-15 Silom Plaza GF, Silom Road, Bangrak 10500
(シーロムとナラティワートの交差点。駐車場有。BTSチョンノンシー3番出口から徒歩5分)

<お知らせ> ランチ再開しました！ 週替わりセットメニューをご用意してお待ちしております。

第9回 日本酒をたのしむ会

(その1) 2017年5月12日(金) (その2) 2017年6月1日(木)

いずれも19:00～21:30

今回は、お魚料理を中心にします！

ご予約・お問い合わせは、081-836-6350 または saladee.aosawa@gmail.com 青澤まで